

日本とは馴染みの深い花

< 植物名 >

ダイアンサス
ライオンロック

水やり

水やりは土がいったん乾いてからする。過湿を避ける。

置き場所

日なたと水はけ、腐植質に富む用土を好む。

用土肥料

多肥を避ける。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

タネまき、株分け、挿木

冬越し

特記事項なし。

使い方 花壇、鉢植え、切り花、ハンギングバスケット

学名 Dianthus

英名

属名 ナデシコ

科名 ナデシコ

性状(分類) 常緑多年草

原産地 ヨーロッパ

花の色

開花期 春～初秋

購入時期

草丈 20～40cm

ID 877

季節 春 夏 秋

JFコード 23476



冬越しと置き場所

耐寒性がある。日なたと水はけ、腐植質に富む用土を好む。

その他の解説

多肥を避ける。耐乾性がある。屋上緑化・法面向く。

特徴1

秋の七草の一つで、日本とは馴染みの深い花。水やりは土がいったん乾いてからする。過湿を避ける。

特徴2

秋の七草の一つで、日本全土の山野、川原に普通に見られる。'大和撫子'という言葉があるように、日本とは馴染みの深い花。ヨーロッパでは、ロックガーデンを彩る花として親しまれている。ライオンロックは、現在タツタナデシコの名で流通している。中国のセキチクと並ぶ重要な種で、カーネーションその他の園芸品種の交配親と考えられる。